

全柔連発第 26—0258 号
平成 26 年 7 月 25 日

公益財団法人全日本柔道連盟
加盟団体・構成団体御中

公益財団法人全日本柔道連盟
事務局長 宇野博昌

全柔連主催大会における I J F 基準柔道衣の適用について

I J F の柔道衣基準の変更に伴い、国内における小学生を除く全柔連主催大会での柔道衣着用基準を下記のとおり決定したのでご連絡いたします。

記

- 1 I J F 柔道衣基準の変更点
別紙 1 のとおり、コントロール面及び規格が変更となっている。
- 2 I J F 新基準柔道衣の適用
別紙 2 のとおり、新基準は 2015 年度より段階的に適用し、2017 年度に完全実施する。コントロール面、規格とも I J F 基準とする。
- 3 認証柔道衣の着用
全柔連は、主催大会では、「全柔連主催大会における柔道衣及び帯の認証に関する規定」に定める認証柔道衣の着用を義務付け、認証ラベルにより確認している。新基準についても、認証を受けた柔道衣を着用することとし、認証ラベルの様式は別途通知する。
- 4 新旧基準の混在する大会
全柔連においては、2015 年度大会から 2017 年度大会までの間、別紙 2 で示した△を付した大会は、いずれの柔道衣（認証ラベル）、いずれのコントロール面でも出場は可とする。

問い合わせ先 全日本柔道連盟 倫理推進室 担当 小森・金野 Tel 03-3818-4199 Fax 03-3812-3995

(別紙1)

1 コントロール面

2014年1月1日から変更になっている。

- 袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。(下記の図1参照)

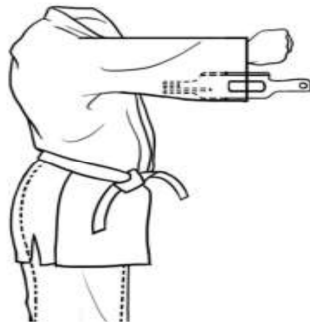


図 1

- 胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で10cm未満でなくてはならない。(下記の図2の矢印の部分が10cm未満)
- 上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも20cmなくてはならない。(下記の図3の矢印の部分が最小20cm)



図 2 拡大

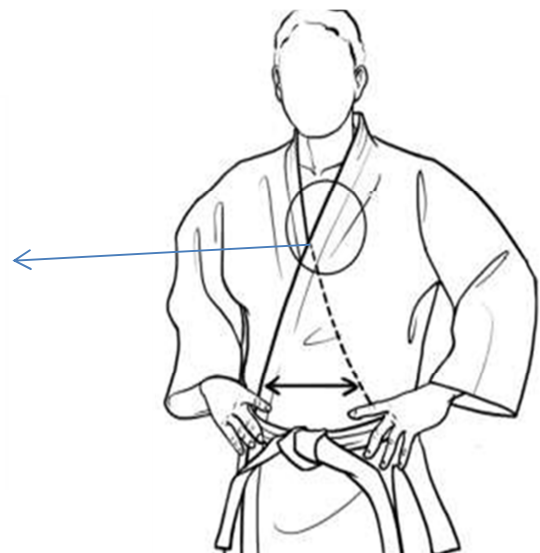


図 3

2 規格面

2015年4月1日から変更になる。

柔道衣の素材と襟の幅が変更になる。

- 上衣の1㎡あたりの重量は、現行の700g~1,000gから650g~750gに変更となる。
- 襟幅は最大4cmとする。また襟は、4筋縫いであること。

(別紙2)

I J F 新規格柔道衣の適用時期

大会名	2015 年度	2016 年度	2017 年度
(一般)			
全日本選抜体重別選手権大会 (4月)	○	○	○
皇后盃全日本女子柔道選手権大会 (4月)	○	○	○
全日本柔道選手権大会 (4月)	○	○	○
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 (11月)	○	○	○
全国教員柔道大会 (8月)	△	△	○
国民体育大会柔道競技会 (10月)	△	△	○
全日本柔道形競技大会 (10月)	△	△	○
(ジュニア・カデ)			
全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 (9月)	○	○	○
全日本カデ柔道体重別選手権大会 (4月)	△	△	○
(高校生)			
全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 (8月)	△	△	○
全国高等学校定時制・通信制体育大会柔道 の部 (8月)	△	△	○
全国高等学校柔道選手権大会 (3月)	△	△	○
(中学生)			
全国中学校柔道大会 (8月)	△	△	○
近代柔道杯全国中学校柔道大会 (3月)	△	△	○

※ 適用は本大会のみとする。予選は適用外とする。

○印の大会は新規格柔道衣のみ、コントロール面も新基準とする。

△印の大会はいずれの柔道衣（認証ラベル）、いずれのコントロール面も可とする。